

## 【1. 概要】

- ・種いも温湯消毒と輪作等により、根腐病を中心とした土壤病害の効果的な防除を実施
- ・温湯消毒機が40台以上導入。緑肥導入面積H19:308ha→H25:325ha(県内導入率9.5%)
- ・IPM推進リーフレットを作成し導入を推進



図1. コンニャク種いも温湯消毒機

## 【2. 実践内容】

### (1)取り組みの背景、経緯

- ・コンニャクの主要病害である根腐病、腐敗病等の伝染経路は、種いも伝染と土壤伝染
- ・対策として、土壤くん蒸剤による土壤消毒や薬剤による種いも消毒が行われているが、さらに低コストで薬剤に頼りすぎない防除体系の確立が求められていた
- ・種いも伝染防止対策として温湯消毒機(官民共同開発)、土壤伝染防止対策として緑肥輪作による総合防除体系を実証した(図1、2)



IPM推進リーフレット



図2. 輪作作物(ソルゴー)

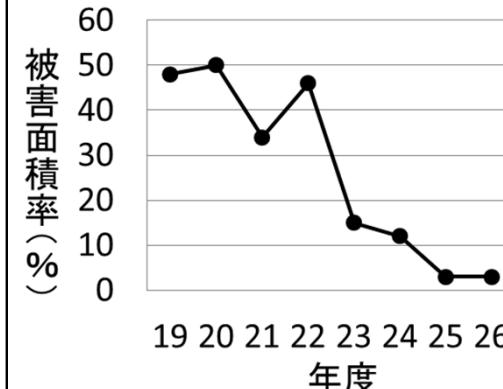


図3. 西部地域におけるコンニャク根腐病の被害面積率の推移  
(西部農業事務所調べ)

### (2)普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・現地実証により、技術の実用性を検討
- ・現地検討会、講習会等での説明、巡回での確認や指導
- ・IPM推進リーフレットを作成し生産者や指導者に配布して導入推進

## 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・県西部地域の根腐病の被害面積率が大きく減少した(図3)
- ・IPM体系により、土壤くん蒸剤の使用回数を従来の最大1/2に削減した

【問い合わせ先】  
群馬県農政部技術支援課生産環境室植物防疫係  
電話 : 027-226-3038